

インドネシア版セーフティレコーダ (ISR)を用いた運送トラックの燃費改善による低炭素化と物流効率改善への支援実証

事業実施団体：株式会社データ・テック

リノベーション・実証の概要

- ・本事業では、日本でエコドライブによる燃費改善と事故率減少の実績のあるデータ・テック製車載機「セーフティレコーダ (SR)」の技術を現地用途 & 価格に適合するように、インドネシア法人と共同開発する。
- ・また、渋滞情報把握機能も追加し、情報の共有化や運行計画等のツールを考案することで、車の一層の「燃費改善」と「物流効率改善」を通して低炭素化に寄与する。
- ・更に、現地法人にて運用保守を行う体制を確立する。運用の主体を現地とすることで、持続的な「燃費改善」と「物流効率改善」の事業が実現可能となる。



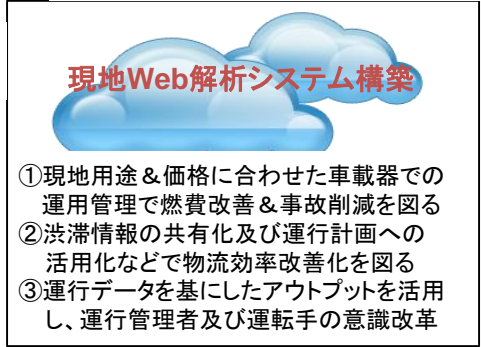
国内の協力外注先の商社及びその商社が出資するインドネシアの総合物流会社の協力のもと、現状課題を分析し、解決することで本事業を推進する。

現地運送事業者が抱える課題の解決

現地法人が主体となりシステムを運用



運行データ
分析・活用



対象とする国・地域の概要

ジャカルタ近郊の交通渋滞は世界一と言われている。現地総合物流会社に課題を聴取した結果、渋滞による回転率低下や、省燃費 & 安全運転意識が低い等が挙げられた。省燃費運転を支援する機能や渋滞回避機能などを備えた車載管理機器の導入が求められている。



地図データ©2019 Google

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

- 事業化見込み**
- STEP1: 稼働状況の実情把握とISR要求仕様の確立 (既存機器50台)
 - STEP2: ISR開発と実証実験システム構築及び効果検証 (先行試作機200台)
 - STEP3: 実運用に向けた体制作り、ISR機器及び運用システム本格運用検証 (量産試作機1,000台)

- 普及の見込み**
- ・現地法人 (総合物流会社) との協力における事業化が前提であり、現地法人の要求に沿った開発を行い、普及可能な価格帯をターゲットとする。
 - ・渋滞の状況把握 & 情報共有化ツールを作成し運行 & 計画作成に活かす。
 - ・最終的に現地法人で設置・保守・サービスを可能とする体制を構築する。